

# 2018年度(平成30年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(56)番 福山市立久松台小学校

## 1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

| 育成する21世紀型“スキル&倫理観”                | 主体的に学ぶ力                   | 表現力   | 他者とつながる力            | 社会や自然を大切にすること                   |
|-----------------------------------|---------------------------|---|---------------------|---------------------------------|
| めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童の姿) | 自ら進んで課題を発見し、問題解決しようとしている。 | 自分と友達の考えを比較し、共通点や相違点を見つけることを通して、根拠を明確にししながら自分の考えを友達に伝え、よりよい考えを生み出す。 | 友達の意図を汲んで自分の考えを伝える。 | 身近な社会や自然に進んで関わり、自分とのつながりを大切にする。 |

## 2 授業の現状

- ・基礎的・基本的な知識・技能を定着している。
- ・自ら課題を発見し、問題解決をしようとする意欲に課題がある。

転換

## 3 めざす授業の姿

- ・児童が主体的に学ぶために、問題解決型学習の中で、児童が思考ツールを活用しながら考えをノートに書き、学び合いができる授業

## 4 めざす授業に向けた取組の具体

| 4月からの取組  | 8月末の状況   | 9月からの取組  | 12月末の状況  | 1月からの取組  | 2月末の状況  |
|--|--|--|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○問題解決学習を実施する。</li> <li>○校内研修での事前研修は模擬授業を実施する。</li> <li>○板書計画、授業参観、授業板書、児童のノートによる研修を実施する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○校内研修を通して問題解決学習のイメージを職員間で共有し、授業を実施することができた。</li> <li>○模擬授業を実施することで、めざす子ども像に迫る授業展開を工夫することができた。</li> <li>○授業参観を実施することで、板書や授業展開の工夫等を学ぶことができた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自校の主体的な学び、対話的な学びを確立するために、課題の持たせ方、教材の提示の工夫等を研修し、日々の授業に生かす。</li> <li>○継続して、模擬授業を実施し、授業改善を図る。</li> <li>○板書計画をもとに見せ合いっこ授業キャンペーンを実施し、授業力向上を図る。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的・対話的な学びを促すための発問の具体を研修で提案し、日々の授業で実施することができた。</li> <li>○模擬授業を実施することで、主体的・対話的な学びを共有し、授業改善に生かすことができた。</li> <li>○見せ合いっこ授業キャンペーンを実施し、全校で主体的・対話的な学びを意識した授業展開ができた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自校の主体的・対話的な学びを確立するために、発問と教材の提示の工夫を研修し、日々の授業に生かす。</li> <li>○これまでの模擬授業・校内研修の成果と課題を共有する。</li> <li>○見せ合いっこ授業キャンペーンを継続して行い、主体的・対話的な学びの具体に迫る。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○特に発問を意識しながら、日々の授業を実践することができた。</li> <li>○教師は話しすぎず、子どものつぶやきに耳を傾け、切り返すポイントを逃さないことをまとめとし、次年度も意識する。</li> <li>○見せ合いっこ授業キャンペーンを継続することで、日々の授業でも主体的・対話的な学びに迫ろうとする姿が現れた。</li> </ul> |

## 5 取組の結果等

数値は2018年(H30年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)

|    | A問題         | B問題         |
|----|-------------|-------------|
| 国語 | 81.0(+8.0)  | 70.0(+11.0) |
| 算数 | 80.0(+14.0) | 66.0(+12.0) |
| 理科 | 71.0(+8.0)  |             |

( )は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査〈児童質問紙調査〉(%)

| 内容     | 国語   |      | 算数   |      | 理科   |      |
|--------|------|------|------|------|------|------|
|        | よく   | やや   | よく   | やや   | よく   | やや   |
| 授業が分かる | 61.7 | 36.2 | 74.5 | 25.5 | 80.9 | 17.0 |
| 学校が楽しい | 93.6 |      |      |      |      |      |

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%) (2)月末現在

|      |   |     |   |
|------|---|-----|---|
| 暴力行為 | 0 | 不登校 | 0 |
|------|---|-----|---|

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

| 県平均以上項目数      | 前回目標値に対する結果  | 重点課題                                       | 改善する取組内容・方法  |
|---------------|--|--|--|
| (男子)<br>29/48 | ○96項目中60項目が県平均値かつ全国平均値以上で目標を達成している。  | ○「握力」、「50走」、「ボール投げ」で県平均値かつ全国平均値を下回った学年が多い。 | ○遊具、握力グリップの活用、50m8秒間コースの設置・活用、やわらかい野球ボールの準備・活用を行う。 |
| (女子)<br>31/48 | ○「握力」「ボール投げ」に課題があり、継続して取組む必要がある。   | ○1日の運動時間が、30分未満と回答した児童が18.5%いる。            | ○委員会で体育的行事を実施する。<br>○家庭学習で取組めるようにする。               |
| 目標値           | ○「握力」を1人1kg ずつ伸ばす。(12月に再測定) ○「50m走」を1人0.2秒ずつ伸ばす。(12月に再測定)<br>○「ボール投げ」を1人1m ずつ伸ばす。(12月に再測定)<br>○運動習慣に関するアンケート「1日の運動時間が30分未満と回答する児童」を15%未満にする。 |  |  |

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

| 質問項目          | よく   | 当てはまる |
|---------------|------|-------|
| 仕事にやりがいを感じている | 18.8 | 37.5  |
| 仕事に充実感がある     | 6.7  | 40.0  |

児童生徒アンケート(%) (3)月実施

| 質問項目           | 当てはまる | 少し   |
|----------------|-------|------|
| 授業で考えることが面白い   | 85.4  | 14.6 |
| 自分の考えは、認められている | 85.0  | 15.0 |